

# 『いまりSTEP UPプロジェクト』 2023年版

第6次総合計画後期基本計画（令和5～8年度）で重点施策に位置付けた5つの都市像の実現に向けた取り組みを進め、九州西北部における活力創造拠点として、持続的な発展を目指します。

- ① 未来を託す子育て応援都市 (Support・支援)
- ② 未来を先取るデジタル都市 (Technology・技術)
- ③ 競争に打ち勝つ産業都市 (Economy・経済)
- ④ 世界に向けた港湾都市 (Port・港)
- ⑤ SDGs推進都市

## ① 未来を託す子育て応援都市 (Support・支援)

### 1. 子どもの成長と子育てを『支える』取組

- 高校生などの入院費一部助成の追加や県内の市では初めて就学前児童の医療費実質無料化など子どもの医療費の助成
- 学校給食費の値上げ額の半額補助や保育園などの給食費高騰分の補助
- 老朽化対策および食物アレルギー対応に向けた学校給食センターの改修

### 2. 若者が伊万里で子育てしたいと『感じる』取組

- 学校での1人1台の学習用端末とAIドリルの活用などによる一人一人の理解度に応じた教育の推進
- 学校外でのSDGsをテーマとした体験の場などの充実（小学生工場見学、食品ロス講座など）
- 若者の市外流出抑制と専門性の高い優秀な人材確保のための高等教育機関誘致

### 3. 子育ての場として『選ばれる』取組

- SNSや情報誌などを活用した子ども連れで行きたい飲食店や遊び場、本市の子育てサポート制度など子育て情報を発信
- 伊万里ファミリーパークへのインクルーシブ遊具の設置や国見台公園などの老朽化した遊具の更新など公園の再生
- 老朽化した東山代小学校・コミュニティセンターなどの複合化などによる教育環境の整備

## ② 未来を先取るデジタル都市 (Technology・技術)

### 1. 産業DXの推進

- DXセミナーなどの開催や中小企業のDX促進を支援
- 農業DX推進協議会を設立しスマート農業導入促進
- 人流や宿泊予約状況などのビッグデータを分析し戦略的な施策の展開

### 2. 行政DXの推進

- 『書かない窓口』の導入検討

## ③ 競争に打ち勝つ産業都市 (Economy・経済)

### 1. 観光の振興

- ブランディングアドバイザーと連携し、従来からある本市の観光資源の価値を再評価し新たな魅力の創出
- 環境にやさしい低速の電動車を活用した移動サービス『グリーンスローモビリティ』の導入による大川内山の魅力向上
- 道の駅伊万里『伊万里ふるさと村』の再生支援

### 2. 商工業の振興

- 伊万里駅に高校生などの駅利用者の休憩やまちづくり団体などのイベントに利用できるフリースペース設置
- 民間のノウハウや資金を活用した伊万里駅周辺の活性化プロジェクトの推進
- 中心市街地の活性化に向けた企業委託型地域おこし協力隊の活用

『子育て・若者成長応援パッケージ』

キーワード『支える』『感じる』『選ばれる』



# 令和5年度 主な施策と予算

## ④ 世界に向けた港湾都市 (Port・港)

### 1. 浦ノ崎地区の開発促進

- 洋上風力発電の関連企業の誘致などに向けた協議会の設立、佐賀県と一体となった中長期ビジョンの策定や港湾計画の改訂など

### 2. 港湾機能の強化

- 東南アジアや台湾との直行航路の誘致を促進する佐賀県伊万里港振興会への支援



## ⑤ SDGs推進都市

### 1. 脱炭素社会の構築

- 市民図書館を環境学習の拠点となる『カーボン・ニュートラル・ライブラリー (CNL)』へ (前澤友作氏の寄附を活用し、太陽光パネルの設置や電気自動車の導入を検討)

### 2. 移住・定住施策の促進

- 移住奨励金の交付や移住体験ツアーの開催など

### 3. 伊万里市版SDGsの推進

- 散弾銃射撃場の汚染土壌の処理



## SDGs (持続可能な開発目標) 17の目標

SDGsとは、2015年に国連サミットで採択された、2030年までに持続可能でより良い世界を目指す国際目標です。貧困、衛生、教育、経済成長や働きがい、格差、気候変動など、21世紀の世界が抱える課題が包括的に挙げられており、17の目標(ゴール)と169のターゲットから構成され、地球上の『誰一人取り残さない』ことを誓っています。

- |                    |  |
|--------------------|--|
| 1 貧困               | あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる   |
| 2 飢餓               | 飢餓を終わらせ、食料安全保障および栄養の改善を実現し持続可能な農業を促進する   |
| 3 保健               | あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する   |
| 4 教育               | すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する  |
| 5 ジェンダー            | ジェンダー平等を達成し、すべての女性および女児の能力強化(エンパワーメント)を行う                                      |
| 6 水・衛生             | すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する   |
| 7 エネルギー            | すべての人々の安価かつ信頼できる持続可能な近代的なエネルギーへのアクセスを確保する                                      |
| 8 経済成長と雇用          | 包摂的かつ持続可能な経済成長およびすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する             |
| 9 インフラ、産業化、イノベーション | 強靱(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進およびイノベーションの推進を図る                             |
| 10 不平等             | 国内および各国家間の不平等を是正する   |
| 11 持続可能な都市         | 包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市および人間居住を実現する   |
| 12 持続可能な消費と生産      | 持続可能な消費生産形態を確保する   |
| 13 気候変動            | 気候変動およびその影響を軽減するための緊急対策を講じる  |
| 14 海洋資源            | 持続可能な開発のために、海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する  |
| 15 陸上資源            | 陸の生態系の保護、回復および持続可能な利用を推進し、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る    |
| 16 平和              | 持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する |
| 17 実施手段            | 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する                                       |



【出所：国際連合広報センター】